

大井川を照らす幻想的な盆送り火

8/16

下長尾地区で伝統行事「百八たい」が開催されました

下長尾区の大井川河川敷にて盆の送り火「百八たい」が行なわれ、区民や帰省中の家族連れなど、約100世帯が参加しました。

各世帯がそれぞれまきを持ち寄り、約2週間隔で40センチほどの高さに積み上げました。初盆を迎えた家庭から順番に火を放つと、一列に並んだ炎が大井川の水面を幻想的に照らしました。

百八たいは同地区で続く伝統行事で、由来は定かではないものの、江戸時代に発生した鉄砲水の犠牲者を慰霊する川施餓鬼を起源とする説が伝えられています。



あいにくの雨模様でしたが、花火を楽しむ参加者もいました



大道芸人の妙技や奥大井煙火保存会の手筒花火に大歓声

8/13

まちを元気に！「やっちゃん祭」

住民手作りの夏祭り「第8回やっちゃん祭」が盛大に開催されました

「第8回やっちゃん祭」(同実行委員会主催)が高郷河川敷多目的広場で開催され、町内外から多くの来場者でにぎわいました。

会場には多くの露店が軒を連ね、特設ステージでの小学生ダンスチームや大道芸人などの演技や、手筒花火の豪快な火柱と赤石太鼓の勇壮な響きの共演も、来場者を楽しませました。

母親と一緒に町内の祖父母の家を訪ね、祭り会場にやって来た藤本理瑚ちゃん(静岡市=5歳)は「金魚すくいが楽しかった」とうれしそうに話しました。

トーマスに手を振って「おもてなし」

8/16

大井川鐵道沿線で「きかんしゃトーマス号」に手を振るイベントが開催されました

本町と島田市の大井川鐵道沿線で、「きかんしゃトーマス号」とその乗客に手を振って歓迎するイベントが行なわれました。

崎平駅周辺では、地域住民ら約30人や町産業文化祭のキャラクター「オチャッピー」が線路沿いに並び、青いうちわを振ったりメッセージボードを掲げたりして歓迎しました。

イベントの企画者である高城和子さん(本町出身・島田市在住=35歳)は「多くの沿線住民の方に大井川鐵道の魅力を再認識してもらえるよう、今後も活動を続けたい」と話しました。



トーマスは汽笛で、乗客は手を振って歓迎に応えました

速報「お達者度」女性1位、男性3位

8/26

介護なしで暮らせる健康長寿社会を目指す

県が発表した市町別の「お達者度」で女性が21年10カ月で県内1位に、男性が18年4カ月で3位に輝きました。「お達者度」とは、65歳以上の県民が介護を受けずに、自立して健康に生活できる期間を示した指標のことです。

本町の昨年順位は女性が2位、男性5位でしたが、男女とも順位が上がりました。

上位の傾向として「生活習慣や摂取食品、社会との交流」が挙げられ、大豆製品を週4回以上食べたり、緑茶を日に4杯以上飲む人が多い地域が延伸していると県は分析しています。



△神田熊四郎さん(96歳)とよし子さん(91歳)

今月号表紙の神田さんご夫婦はとても元気で驚かされます

8/22

「人」から学ぶ茶業と地域活性化

東京農業大学の学生5人が町内各地で研修視察を実施しました



農林業センターでの職員の説明に熱心に聞き入る学生

東京農業大学の学生5人が、茶業や地域活性化について学ぶ研修視察のため来町しました。

5人は島田市伊久美地区で地域づくりの活動に取り組んでおり、今回は1泊2日の旅程で茶農家や役場職員などから茶の栽培方法や地域活性化への取り組みについて説明を受けました。

2日目に訪れた農林業センターでは、同施設で実施している茶苗木の生産や品種改良について視察しました。代表の降籙研人さん(4年)は「関係者の皆さんが情熱をもって真摯に取り組んでいる姿が勉強になった」と話しました。

お寺で作る夏休みの思い出

8/23

徳山大泉院で流しそうめん大会が開催されました

毎年恒例の流しそうめん大会が徳山大泉院で行なわれ、同区の小学生や帰省中の家族連れなど約30人が参加しました。

本堂に集まった参加者は、まず住職の爾見淳芳さんの手ほどきを受け、読経と約10分間の座禅体験に臨みました。その後、境内に設けられた全長約15⁶の流しそうめん台に沿って並ぶと、次々に流れてくるそうめんを上手に箸でつかみ、おいしそうに味わいました。爾見さんは「子どもたちには、お寺に親しみながら夏休みの思い出を作ってもらえたら」と話しました。



流れてくるそうめんを待ち構える子どもたち